

# 第2回江の川河川整備懇談会 ～現地視察資料（島根管内）～

平成23年6月2日

国土交通省 中国地方整備局

（写真）江の川河口

## 第2回 江の川河川整備懇談会 行程案(6月2日)

時 間	場 所	滞在時間
10:50	集合場所(江の川下流出張所)	
	(移動)	0:00
10:50	江の川河口	0:10
	(移動)	0:15
11:15	9k0～9k6左岸:川平	0:10
	(移動)	0:10
11:35	15.1k:アユ産卵場	0:10
	(移動)	0:10
11:55	21.0k～23.0k左岸:田津地区	0:10
		0:00
12:05	21k4～22k6右岸:和田・久井谷	0:10
	(移動)	0:15
12:30	31.0k～32.2k左岸:因原	0:10
	(移動)	0:05
12:45	道の駅(川本):昼食	0:40
	(移動)	0:50
14:15	55.8k:浜原ダム	0:15
	(移動)	1:10
15:40	会議場(桜江支所)	0:50
	(移動)	0:30
17:00	江の川下流出張所	1:00

# 江の川 現地視察ルート図(浜田河川国道事務所管内)

① 江の川河口、0.0k～1.6k左岸(江津地区):  
堤防整備状況、無堤部(整備必要箇所)



⑥ 15.1k瀬:アユ産卵場



② 4.0k～7.0k左右岸  
(千金・太田・八神・田野村地区):  
無堤部(整備必要箇所)

③ 7.2k～10.0k左右岸  
(赤栗・田野・樫原地区):  
無堤部(整備必要箇所)

⑦ 16.6k～17.8k左右岸(臼木・猪瀬地区):  
無堤部(整備必要箇所)

⑧ 19.0k～21.0k左右岸  
(花河原・小原(桜江)・元折・榎谷地区):  
無堤部(整備必要箇所)

⑩ 21.4k～23.2右岸  
(和田・久井谷・恵梨地区):  
無堤部(整備必要箇所)

⑮ 39.2k～39.8k右岸(市井原地区):  
水防災整備済箇所

⑪ 29.2k～30.2k右岸(瀬尻・久料谷地区):  
無堤部(整備必要箇所)

⑭ 32.8k～35.2k左右岸(日向・谷・谷戸地区):  
無堤部(整備必要箇所)

集合場所:  
国土交通省  
江の川下流出張所

⑤ 10.8k～14.4k左右岸  
(長良・大口・瀬尻(江津)・小松・仁万瀬地区):  
無堤部(整備必要箇所)

会議場所:  
江津市桜江支所  
コミュニティセンター

④ 9.0k～9.6k左岸(川平地区):事業実施中箇所



⑨ 21.0k～23.0k左岸(田津地区):  
無堤部(整備必要箇所)、水害防備林



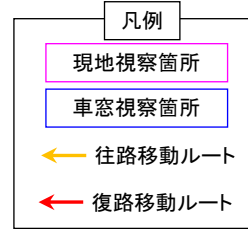
⑫ 30.2k～31.0k右岸(尾原地区):  
堤防整備済箇所



⑯ 39.6k～41.0k左右岸  
(銅ヶ丸・君谷湊・竹地区):  
無堤部(整備必要箇所)

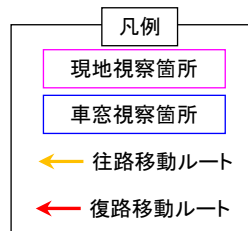
道の駅 川本

⑬ 31.0k～32.2k左岸(因原地区):  
堤防整備済箇所





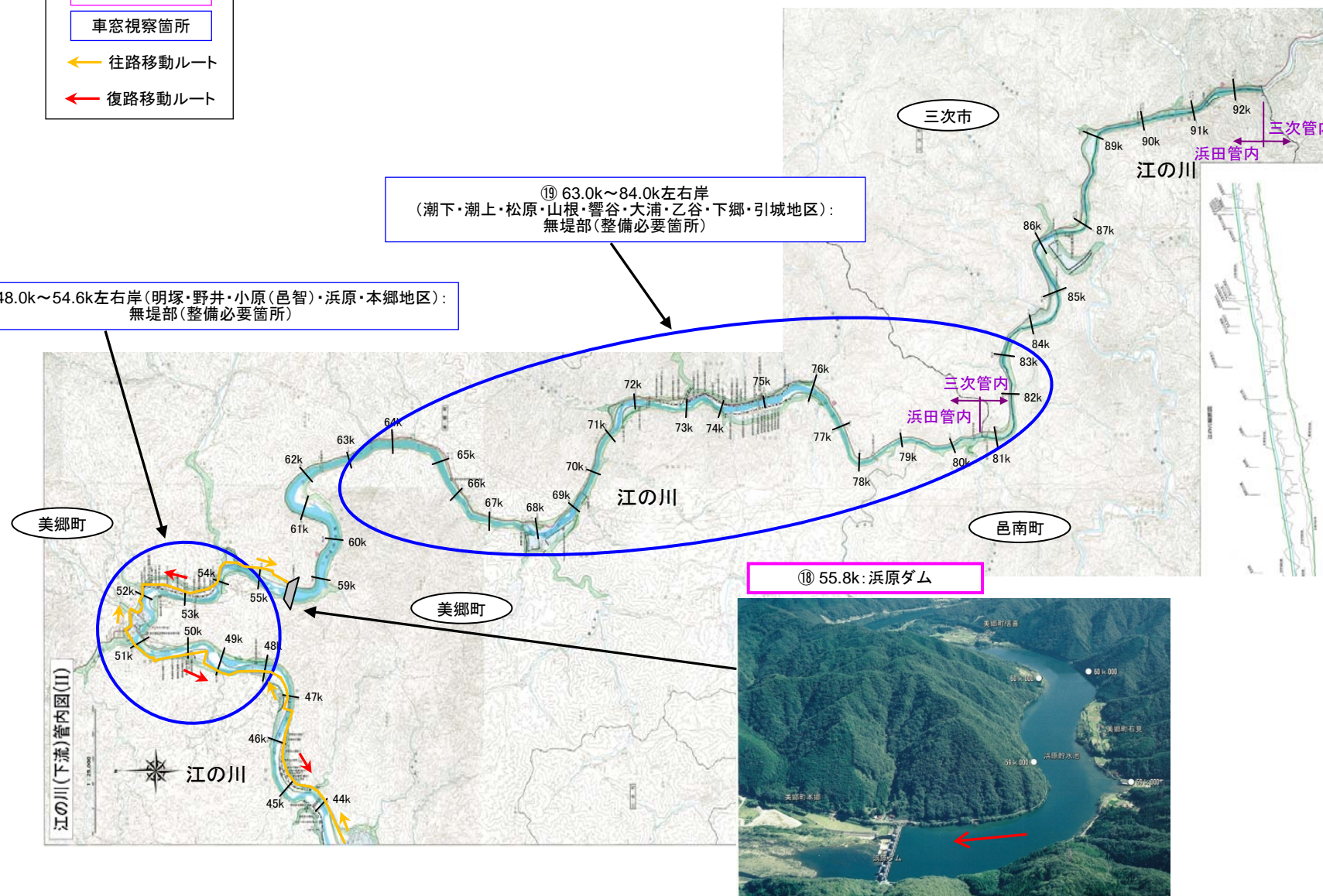
# 江の川 現地視察ルート図(浜田河川国道事務所管内)



⑪ 48.0k～54.6k左右岸(明塚・野井・小原(邑智)・浜原・本郷地区):  
無堤部(整備必要箇所)

⑫ 63.0k～84.0k左右岸  
(潮下・潮上・松原・山根・響谷・大浦・乙谷・下郷・引城地区):  
無堤部(整備必要箇所)

⑬ 55.8k: 浜原ダム



# ① 江の川河口、0.0k~1.6k左岸：江津地区

- 江の川河口部は、昭和47年7月洪水で浸水被害を受けたため、堤防整備を実施してきた。
- 河口部の砂州がフラッシュしたのは、S47.7洪水、S58.7洪水であり、概ね7,500m<sup>3</sup>/s以上の洪水であれば砂州はフラッシュされている。

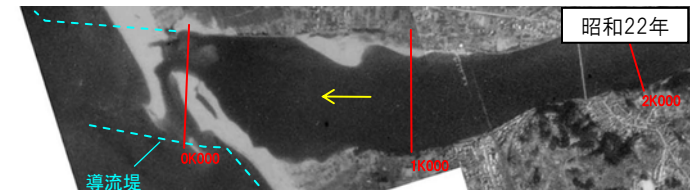


河口部の状況

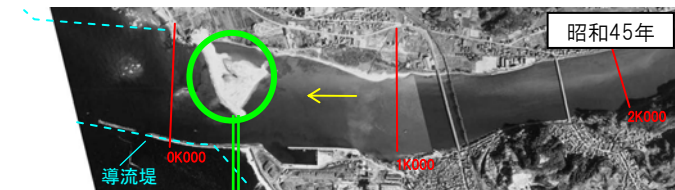


河口砂州の状況

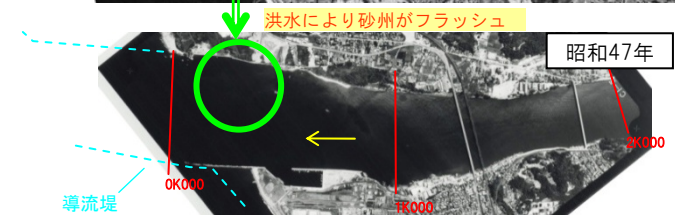
- 昭和47年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 江津地区は昭和47年7月洪水以降堤防整備を実施してきたが、一部無堤地区が残されており、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。



昭和22年

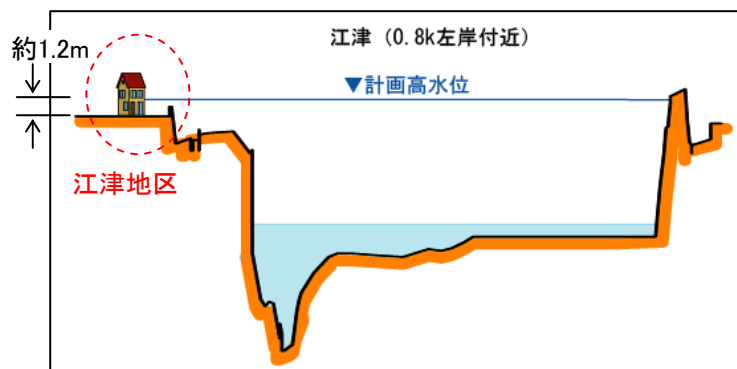


昭和45年



昭和47年

河口砂州のフラッシュ状況



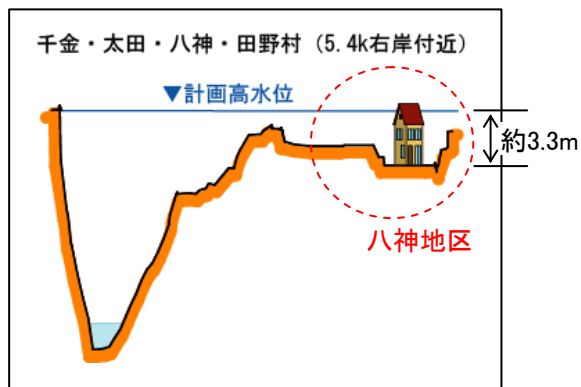
江津地区の状況

【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。

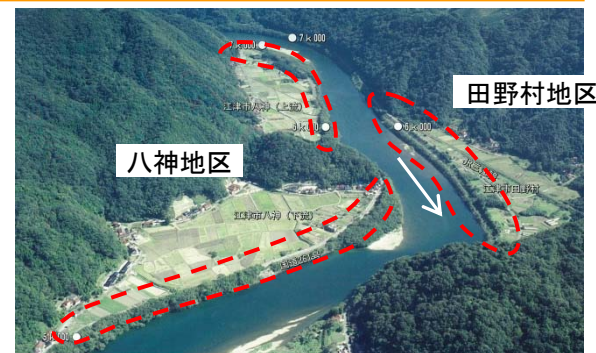


## ② 4.0k~7.0k左右岸：千金・太田・八神・田野村地区

- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。



千金・太田地区の状況

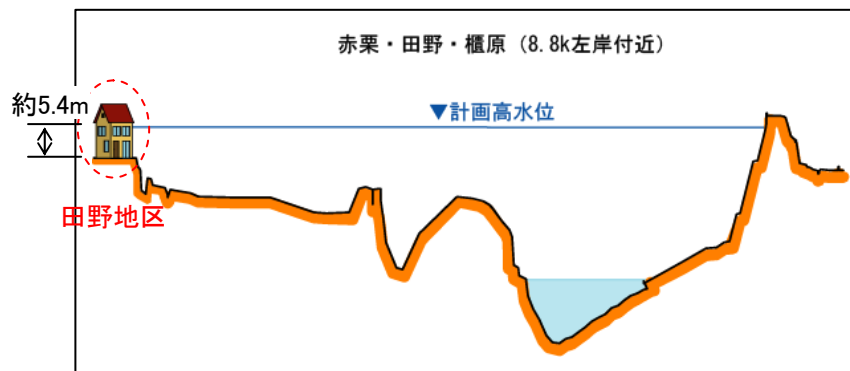


八神・田野村地区の状況

【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。

## ③ 7.2k~10.0k左右岸：赤栗・田野・櫃原地区

- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。



赤栗地区の状況



田野・櫃原地区の状況

【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。



## ④ 9.0k~9.6k左岸：川平地区：事業実施中箇所

- 江の川の中下流部の山間狭窄部においては、全国に先駆けて地域住民の合意のもと土地利用一体型水防災事業を実施してきている。
- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水等で浸水被害を受けている。
- 狭小な平地に住宅が存在するため、連続堤防による治水対策を実施した場合、保全家屋が移転対象となることから、水防災事業により現在実施中である。



○ S47.7洪水浸水区域



① S47.7被災状況



② S58.7被災状況



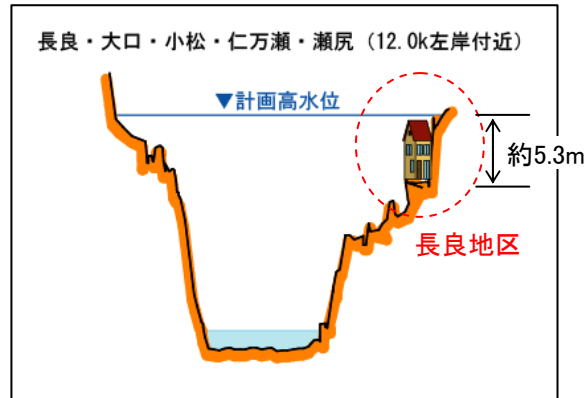
③ H18.7被災状況



## ⑤ 10.8k~14.4k左右岸：<sup>ナガラ</sup>長良・<sup>オオクチ</sup>大口 ・<sup>セジリ</sup>瀬尻（<sup>ゴウツ</sup>江津）・<sup>コマツ</sup>小松・<sup>ニマセ</sup>仁万瀬地区

■昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。

■無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。



長良地区の状況

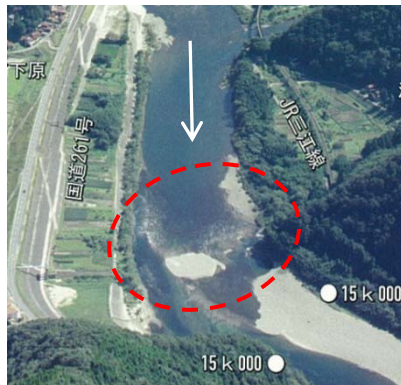


小松・大口・仁万瀬地区の状況

【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。

## ⑥ 15.1k：アユ産卵場

■江の川では9.6~10.0k(瀬尻の瀬), 11.3~12.4k(長良の瀬), 15.1~15.3k(谷住郷の瀬)にアユの産卵場がある。



アユ産卵場の状況



瀬尻の瀬 (9.6~10.0k)



長良の瀬 (11.3~12.4k)

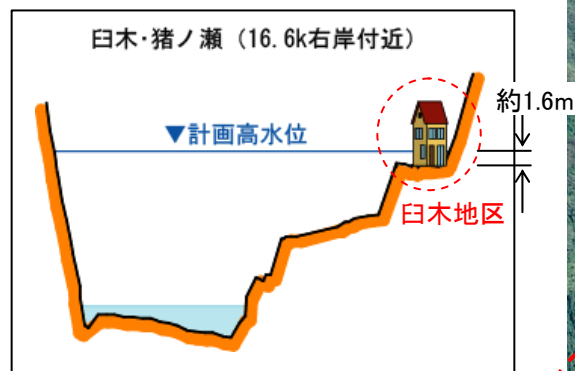


谷住郷の瀬 (15.1~15.3k) 7



## ⑦ 16.6k~17.8k左右岸：臼木・猪瀬地区

- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。

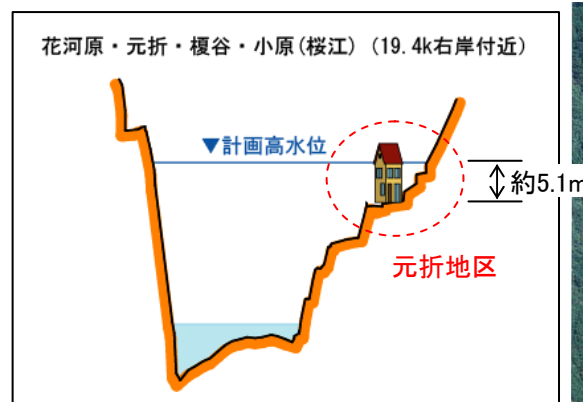


臼木・猪瀬地区の状況

【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。

## ⑧ 19.0k~21.0k左右岸：花河原・小原（桜江） ・元折・榎谷地区

- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。

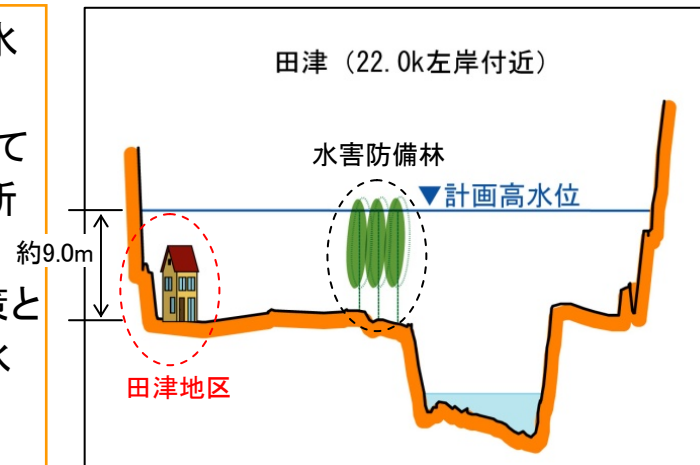


花河原・小原（桜江）・  
元折・榎谷地区の状況

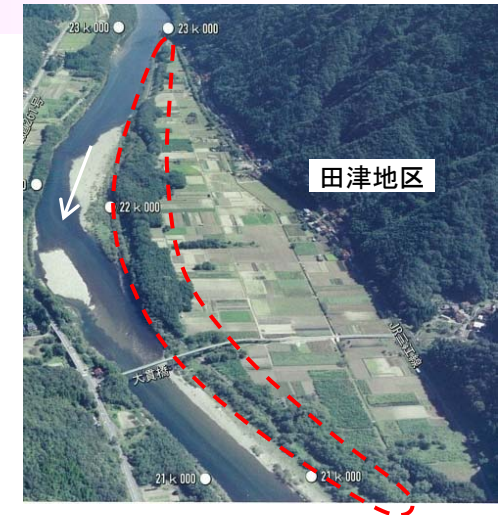
【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。

## ◎ 21.0k~23.0k左岸：田津地区

- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。
- 弘法大師の教えにより水害軽減対策として植えられたと言われる竹林が、水害防備林として今も残る。



【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。



田津地区の状況  
(無堤地区・水害防備林が存在)



昭和47年7月洪水



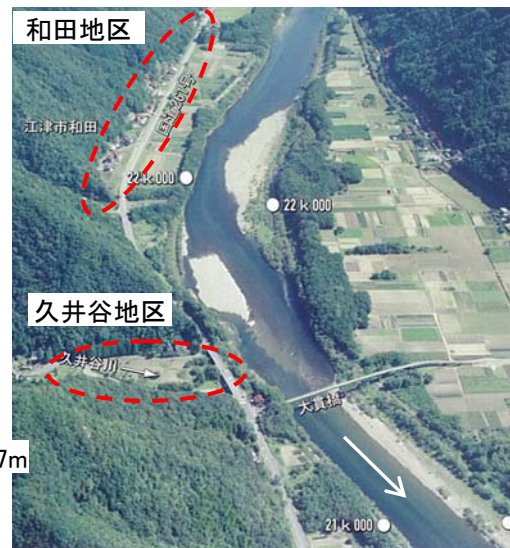
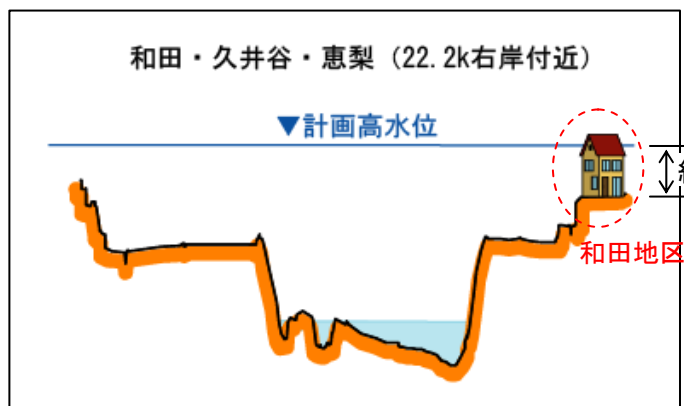
H18年7月洪水



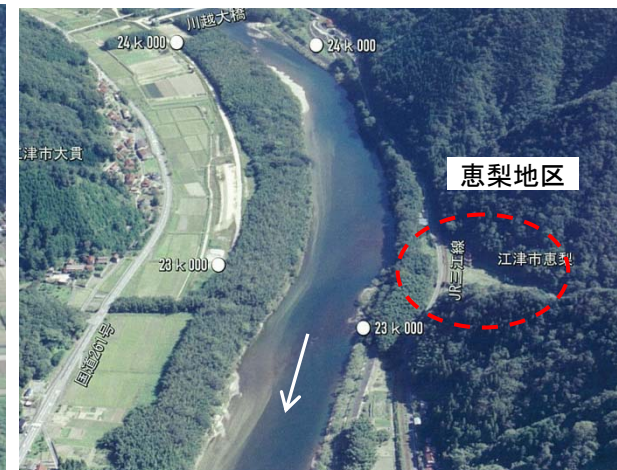
ワダ      ヒサイダニ      エナシ

## ⑩ 21.4k~23.2k右岸：和田・久井谷・恵梨地区

- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。



和田・久井谷地区の状況



恵梨地区の状況

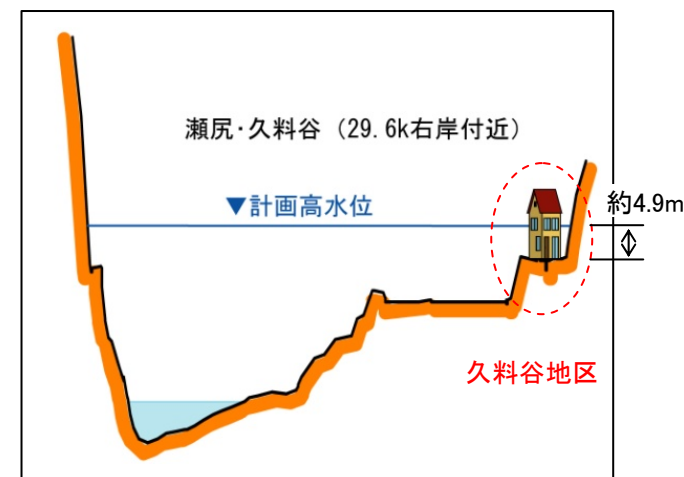
【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。

## ⑪ 29.2~30.2k右岸：瀬尻・久料谷地区

- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。



瀬尻・久料谷地区の状況



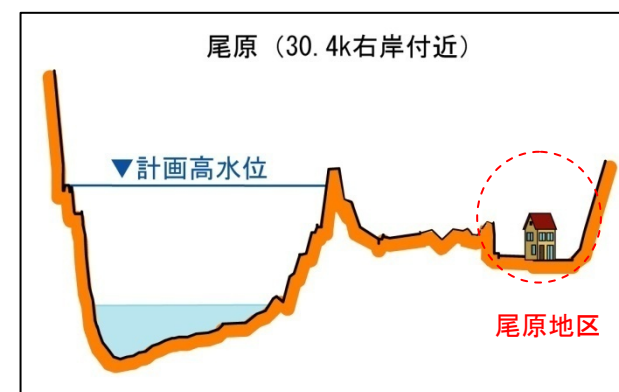
【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。

## ⑫ 30.2k~31.0k右岸：尾原地区

- 尾原地区は、昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けたことから、築堤事業を実施し、H22年に概成した。
- 下流の瀬尻・久料谷地区が未施工である。



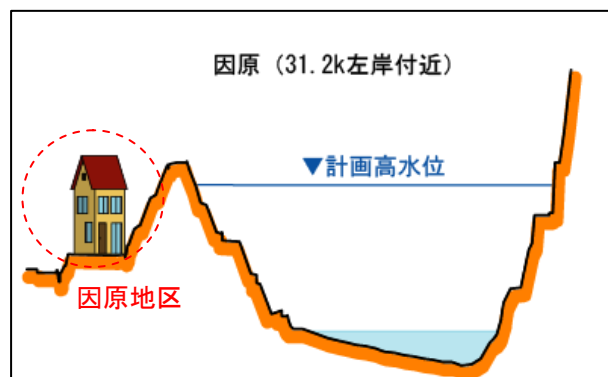
尾原地区の状況



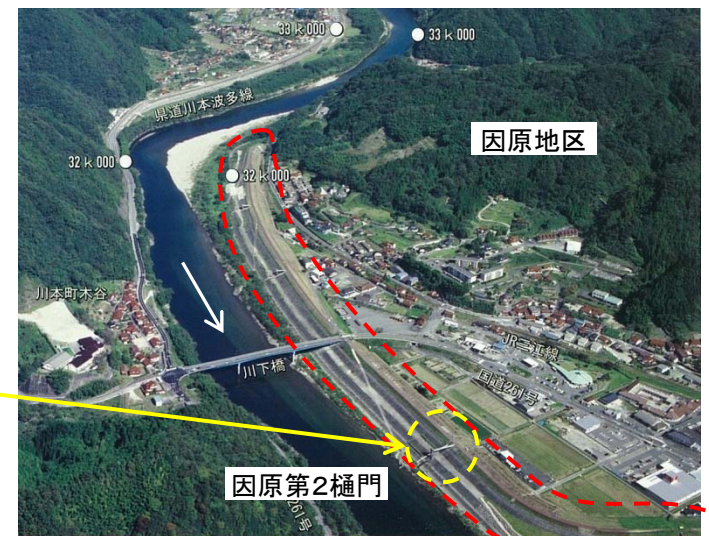


## ⑬ 31.0~32.2k左岸：<sup>インバラ</sup>因原地区

- 因原地区は、昭和47年7月洪水で浸水被害を受けたことから、築堤事業を実施し、昭和49年に概成した。
- 支川天王寺川の内水による浸水が発生しており、洪水時には排水ポンプ車による排水を実施している。



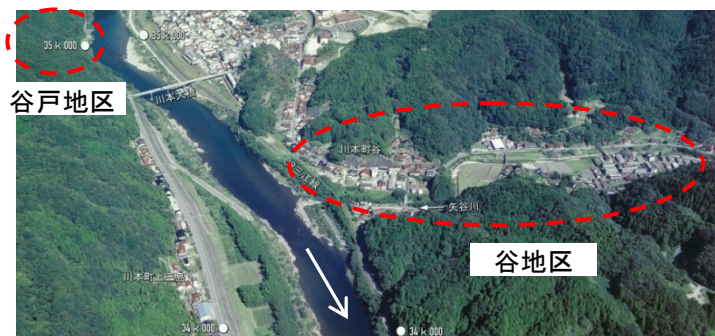
H22. 7洪水の排水ポンプ車出動状況



因原地区の状況

## ⑭ 32.8k~35.2k左右岸：<sup>ヒナタ</sup>日向・<sup>タニ</sup>谷・<sup>タンド</sup>谷戸地区

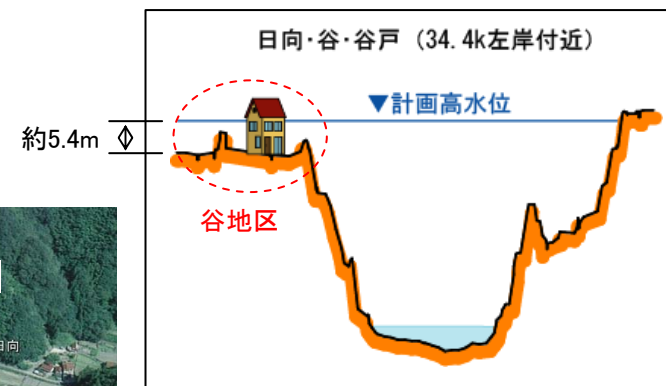
- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。



谷・谷戸地区の状況



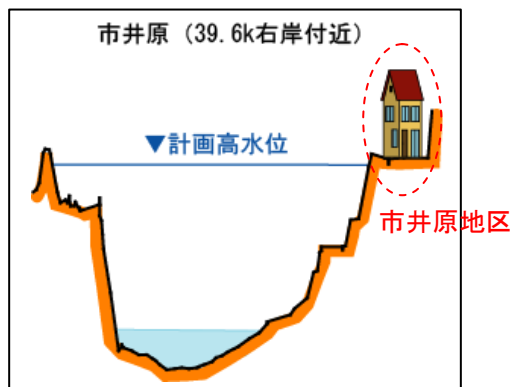
日向地区の状況



【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。

## ⑮ 39.2k~39.8k右岸：市井原地区

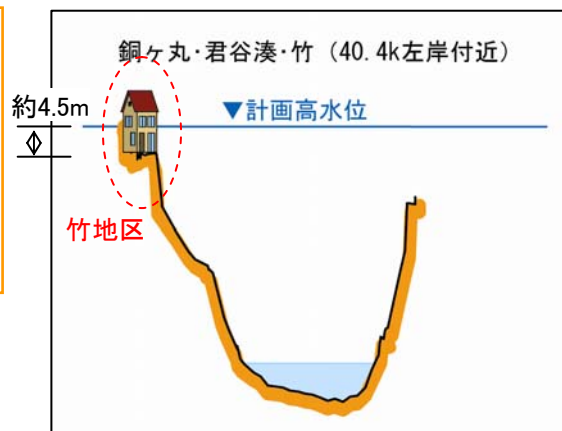
■市井原地区は、昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けたことから、水防災事業を実施し、H15年に完了した。



市井原地区の整備状況

## ⑯ 39.6k~41.0k左右岸：銅ヶ丸・君谷湊・竹地区

■昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。  
■無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。



銅ヶ丸・君谷湊・竹地区の状況

【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある



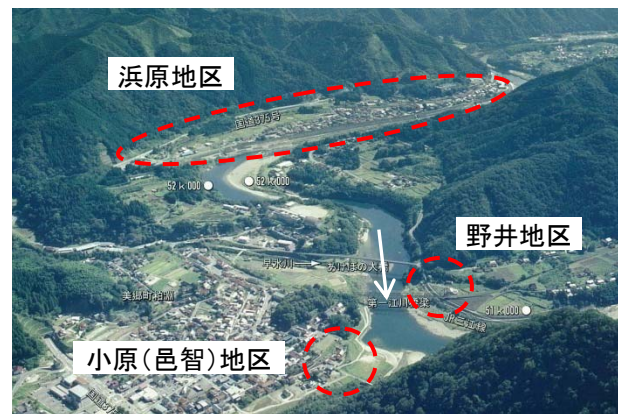
⑪ 48.0k~54.6k左右岸：

アカツカ ノイ オバラ (オオチ) ハマハラ ホンゴウ  
明塚・野井・小原(邑智)・浜原・本郷地区

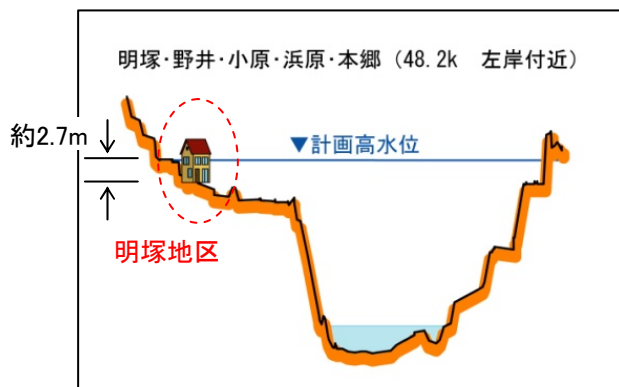
- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。



## 明塚地区の状況



野井・小原（邑智）・浜原地区の状況



## 本郷地区の状況

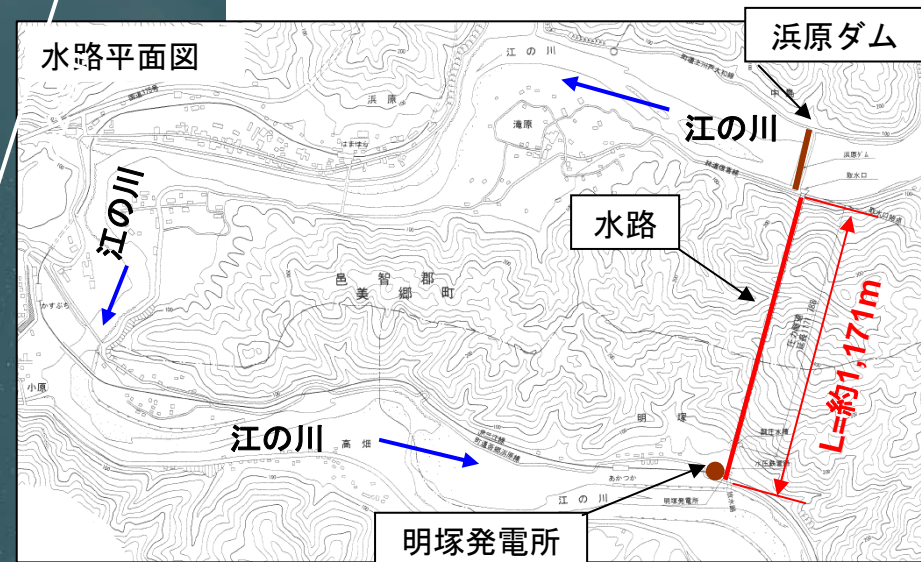
【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。



## ⑱ 55.8k：浜原ダム（諸元）



- 堤高: 19m
- 堤長: 361.4m(249m(芯壁除く))
- 総貯水容量: 11,200千m<sup>3</sup>
- 目的: 発電
- 最大取水量: 110m<sup>3</sup>/s
- 最大出力: 25,000kw





## ⑮ 55.8k：浜原ダム（魚道）

■ 浜原ダム建設により、河川の縦断的連続性が損なわれたため、地元調整により魚道が改良された。



浜原ダム湛水域の状況



浜原ダム魚道の状況

■ 平成10年の水利権更新時に維持流量の放流を義務づけ  
■ 平成14年～18年に維持流量の増加への対応や遡上降下環境の改善を目的に魚道改良を実施

### ■ 地元の調整による魚道改築の経緯

#### 水力発電開発

- ・ S28 浜原ダム  
〔明塚発電所 : 最大取水量110m<sup>3</sup>/s, 最大出力 25,000kw〕



魚道の機能不足、減水区間の発生



#### 地元調整による魚道の改良

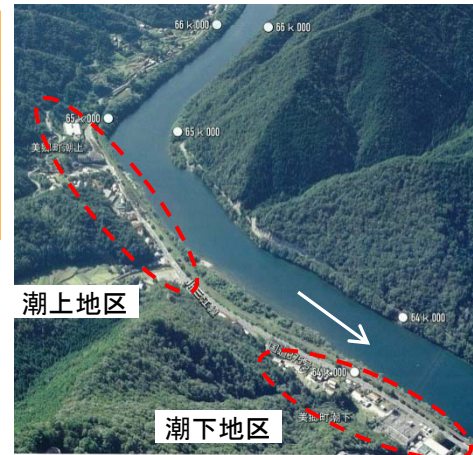
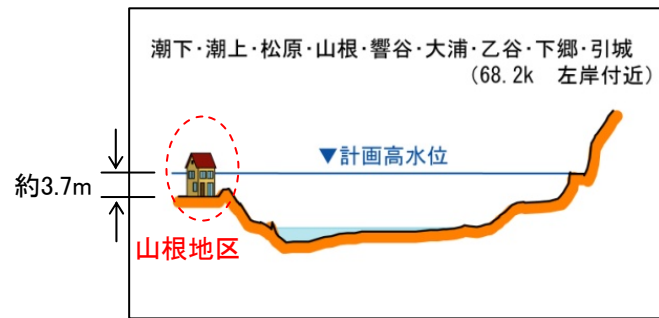
- 電力会社、漁協の協議により魚道を改築  
・ 平成14年度から改良、平成18年度完成

#### 地元調整による義務放流量の設定

- 義務放流（最低放流量）を国と電力会社と漁業組合の間で決定  
・ 義務放流量 6.92m<sup>3</sup>/s  
（尾関山基準地点に換算：正常流量 16m<sup>3</sup>/sに相当）

⑬ 63.0k~84.0k左右岸：潮下・潮上・松原  
 ヤマネ ヒビキダニ ウシオシモ ウシオカミ マツバラ  
 オオウラ オツダニ シモゴウ ヒキシロ  
 ・山根・響谷・大浦・乙谷・下郷・引城地区

- 昭和47年7月洪水、昭和58年7月洪水で浸水被害を受けている。
- 無堤地区であり、流下能力が不足していることから、治水対策が必要な箇所である。



潮下・潮上地区の状況



松原・山根地区の状況



響谷・大浦地区の状況



乙谷地区の状況



下郷地区の状況



引城地区の状況

【注意】現況流下能力が不足している箇所を示しており、整備計画での整備箇所と異なる場合がある。



## ②⑩ 地域連携

### GOリバークリーンUP作戦

■河川美化、不法投棄対策を目的として、国土交通省、島根県、警察、市町村、自治会などが連携して行っている。

■地域連携により河川の清掃活動を実施

※GOリバークリーンUP作戦実施状況

- ・平成23年3月3日に実施(7年目)
- ・地元小学校、地方自治体、国交省職員など約260人が参加



清掃活動の状況



清掃によるゴミの集積状況

### 水辺EN組プログラム

■住民自身の手で、河川をもっと美しくする活動の推進を目指し、流域住民と連携した川づくり、河川管理を行う水辺EN組プログラムを平成13年より実施している。

■EN(en)は縁・円と環境・周囲(Environment)を意味し、河川敷を養子(縁組)とし、河川美化活動団体が養親となり、年3回以上の河川美化清掃ボランティア活動を行うものである。

■河川敷の空き缶などのゴミ拾い、花の植栽等を行っている。



EN組座談会の状況



# 参考：生息魚類の状況

